

会員の皆様方に日本臨床神経生理学会第50回記念大会の  
演題募集延長のお知らせ

皆様に置かれましてはコロナ対策で大変お忙しいことと存じます。この度、第50回日本臨床神経生理学会学術大会の会長を拝命しました関西医科大学整形外科の齋藤貴徳です。現在、今年11月26日（木）から28日（土）までの日程で開催予定の第50回記念大会の準備を鋭意進めているところでございます。整形外科のみならず、脳神経内科、精神神経科、脳神経外科、麻酔科、小児科、など、当学会の特徴である集学的な議論を各科の偏りなく実現するため、各科のリーダーの先生方に早期からプログラム作成に関わっていただき、記念大会に相応しい内容にすべく学会事務局を挙げて取り組んでおります。現在ホームページにおいて一般演題を募集しております。皆様方におかれましてはコロナ対策で大変お忙しいとは存じますが、演題募集を延長し皆様方からの多数の演題応募をお待ちしております。宜しくお願い申し上げます。

最近では春の学会が軒並み中止やweb開催となっており、本学会の日程が11月であり、開催を危惧されている会員の先生方もおられると思います。しかし、先日学会長と執行理事会による会議がweb上で行われ、

- 1) 会期は当初の会期を変更せず、延長なども行わないこと
- 2) もし、第2波などにより全員が京都に集まれない事態となっても、on siteで参加できない会員の皆様に、各会場で行われている講演やシンポジウム、発表などをライブ配信し、参加費を事前にお支払い頂いた会員の先生方は、自宅でもwebを通して、会場での参加と同じように視聴できる環境を提供すること
- 3) ほとんどの方が京都に集まれないときには、webでのご自宅からの発表、講演や、発表者のみ会場に来て配信するなどの対策を講じ、予定のプログラム通りにweb上で学会を実施する予定であること
- 4) どのような形式となっても参加の点数は必ず付与されること

などが話し合われており、今後も当初の予定通り京都国際会議場においてon siteで学会を開催すべく準備を進めて行く予定ですが、どのように情勢が変化しても同じ日程で開催できるよう鋭意準備を進めております。一般演題も必ず発表の機会を与えられるようにしたいと思っております。

今年は本学会が始まって以来初めての記念大会となっております。学会の50年を振り返るパネル展示や、歴代の理事長による学会の50年を振り返る座談会、さらに、IPSの臨床応用に関する特別シンポジウムなども企画しております。また、特に今年の学会は、新たなる

50年のスタートの年として、初参加の先生方やこれから知識を深めていこうとされる会員の皆様方に十分な情報や技術を会得していただける様、教育関係のセッション（ベーシックレクチャー、アドバンスドレクチャー、教育講演、技術講習会など）に特に力をいれてプログラムを組んでおります。一方では、関連する他学会との連携を深めるため、20学会を超える関連学会との合同シンポジウムを実現し、これまであまり取り上げられなかった他学会との境界領域のテーマについてのディスカッションを行い、会員の皆様の知識を深め、お互いの連携強化につながればと考えております。今年の日本臨床神経生理学会学術大会に参加すれば、必ずや歴史や基本を再確認し、一方では、新たな可能性を秘めた研究テーマに触れ、今後の皆様方の研究に大きく貢献できるものと確信しております。

ホームページでご確認されましたように一般演題の募集を7月15日まで約1ヶ月延長致しました。コロナで何かと大変な時期と重なっておりますが、ふるってご応募頂き、多くの会員の皆様にご参加頂き、京都のベストシーズンを感じて頂ければ幸いです。学会事務局を代表し、多くの皆様の演題応募にご参加を心よりお待ちしております。

2020年6月19日

第50回日本臨床神経生理学会学術集会会長

関西医科大学整形外科学講座主任教授

齋藤貴徳